



2024年6月20日

各位

上場会社名 高砂鐵工株式会社
代表者 代表取締役社長 加藤 勘二
(コード番号 5458 東証スタンダード)
問合せ先責任者 経理部長 梅澤 茂樹
(TEL 03-5399-8111)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する東京証券取引所の要請をふまえ、その実現に向けた当社の現状評価、方針・目標および取組みについて、決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の現状評価

2024年3月期の売上高は12,181百万円、経常利益は395百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は234百万円となり、前中期計画(2021年度～2023年度)に掲げた経営目標(ROS、自己資本比率、D/Eレシオ)に対しては一過性の要因を除けば概ね達成することができました。一方、足下の株価は上昇傾向にあるものの、株価の指標であるPBR1.0倍に達していないことから、株価は割安で推移しているものと認識しております。

2. 方針・目標

当社は、2026年度中期計画(下記3. 取組内容参照。)に基づき、売上高200億円以上、ROS8%以上の達成を目指しており、利益の拡大およびその安定化を図ってまいります。そのうえで、「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向けて株主還元方針を配当性向30%以上とし、資本効率の向上に取り組むことでPBR1.0倍以上を目指してまいります。

3. 取組内容(2024年3月29日ホームページ掲載の2026年度中期計画抜粋)

(1)みがき帯鋼事業

「短納期、小ロット、高品質により日本のモノづくり現場を支える」ことを方針にし、みがき帯鋼をお求めになるお客様はもとより、新しいお客様にも当社の実力を知っていただき、お客様から選ばれる取組みを強化し、売上を増やしてまいります。

(2)ステンレス事業

「機能性・意匠性両面で人々の暮らしに快適さと彩りを添える」という方針のもとで、積極的に採用促進を図ってまいります。

(3)プレスプレート事業

「ハイエンドニーズに応える商品力で世界の電子部品産業の発展に貢献する」という方針を掲げ、確実に需要捕捉してまいります。

(4)ステンレス流通事業

ステンレス流通を支えるタカサゴスチール(株)は、大手コイルセンターでは対応が難しい小ロット、短納期等のサービス拡充・地域密着営業のさらなる強化等のお客様のニーズを先取りする営業スタイルの展開により企業体質を高めてまいります。

当社の連結経営指標

(単位:百万円)

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2026年度 (目標)
(1)	売上高	9,679	8,730	10,830	12,236	12,181	200億円以上
(2)	経常利益	210	111	807	779	395	
(3)	ROS	2.2%	1.3%	7.5%	6.4%	3.2%	8.0%以上
(4)	親会社株主に帰属する当期純利益	76	134	647	523	234	
(5)	純資産	3,119	3,240	3,898	4,314	4,406	
(6)	純利益	7,378	7,310	8,486	8,846	9,659	
(7)	自己資本比率	42%	44%	46%	49%	46%	
(8)	自己資本利益率(ROE)	2.5%	4.2%	18.2%	12.7%	5.4%	
(9)	配当金(円/株)	10	10	35	35	35	
(10)	配当金総額	30	30	105	105	105	
(11)	配当性向	39%	22%	16%	20%	45%	30%以上
(12)	期末株価(円)	557	745	860	820	889	
(13)	PBR(倍)	0.54	0.69	0.66	0.57	0.61	1.00倍以上

以上